

事業所名

じょいふる

支援プログラム

作成日

2025年

2月

6日

法人（事業所）理念		自主・自律・自立の精神をすべての人に					
支援方針		利用者に対して、わが子のように支援・療育を行う、個々人の個性・能力を伸ばす。 個性・能力を活かし、個々人が社会参加や社会貢献できるように努める。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善(健康チェック、声掛けによる気分把握) ②生活のリズムや生活習慣の形成(来所時の行動のルーティン化、長期休みのスケジュール作成) ③基本的な生活スキルの獲得(清掃などの補助、活動に対する準備・片付けの徹底)					
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上(運動イベントなどで身体的活動、公園等でのボール等を使った活動等) ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用(靴の履き替えなどの際の椅子の利用) ③保有する感覚の総合的な活用(料理・外出イベント行事などを通じた五感の形成)					
	認知・行動	①認知の発達と行動の習得(学びの中で日常生活での知識の活用例や気づきを支援) ②空間・時間、数等の概念形成の習得(時間・お金・量などの計算、カード遊び) ③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(ソーシャルスキルトレーニング)					
	言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用(漢字練習、会話練習、敬語の練習) ②言語の受容及び表出(帰りの会の発表、イラストコンテスト、ミーティング) ③コミュニケーションの基礎的能力の向上(挨拶、場面に合わせた言葉遣いなど) ④コミュニケーション手段の選択と活用(イラストカードや文字カードを利用したコミュニケーション)					
	人間関係 社会性	①他者との関わり(人間関係)の形成(ゲーム、他者と決めたルールを守りながら遊ぶ、イベント等) ②自己の理解と行動の調整(ソーシャルスキルトレーニング、自己紹介カード作成) ③仲間づくりと集団への参加(イベント活動、帰りの会の発表、お誕生日カードの作成)					
家族支援		・利用児の状況や活動の様子などを保護者様に連絡ノートや送迎時の情報共有によってお互いに把握し、共通理解を図ります。 ・進路に関しての相談も行います			移行支援		・関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいて利用児の様子などを情報共有し、個別支援計画の適宜修正を行います。 ・学校などや他事業所との連携の中で、それぞれの役割分担などを行い、協力しながら利用児を支援していきます。
地域支援・地域連携		・ボランティアの受け入れ ・児童発達支援連絡協議会への参加			職員の質の向上		・毎月の定例会議内での事例検討 ・テーマ毎の研修活動
主な行事等		じょいふる祭り、クリスマス、ハロウィン、節分、餅つき、外出イベント					